

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	25221202	研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
研究課題名	植物の無機栄養ホメオスタシスと成長の統合的理解と仮説検証	研究代表者 (所属・職) <small>(平成28年3月現在)</small>	藤原 徹 (東京大学・大学院農学 生命科学研究科・教授)

【平成 28 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究では、植物の無機栄養ホメオスタシスと成長の統合的理解と仮説検証を目的としており、着実に成果が上がりつつある。具体的には、栄養元素の応答に関する遺伝子の同定については、アポプラスト輸送を遮断するカスパリー線の形成に myb 遺伝子が関与することを明らかにしている。</p> <p>また、リボゾームと RNA を介したホウ素栄養感知機構の解明については、得られた幾つかの知見から、新たな栄養制御機構の解明につながる成果が上がりつつある。さらに、ホウ素輸送モデルの構築と検証では、ホウ素の空間配置を測定して、二次元輸送モデルの検証等を行い、成果を上げている。</p> <p>以上のことから、3つの研究テーマについて、期待された成果が見込まれる。</p>	